

第30回全国大学等遺伝子研究支援施設連絡協議会総会

2014年11月7日・8日（徳島大学）報告

表記総会に参加しましたので簡単な報告をします。今回は総会と共に研修会も実施されました。

日程は下記の通りです。

施設見学

研修会1「ゲノム編集」

- (1) 部位特異的ヌクレアーゼを用いた培養細胞や動物でのゲノム編集
山本 卓氏（広島大学大学院理学研究科数理分子生命理学専攻）
- (2) 植物における NBT 技術の利用と null segregant、社会実装について
田部井 豊氏
（独立行政法人 農業生物資源研究所遺伝子組み換え研究推進室）
- (3) 第6回遺伝子組み換え実験安全研修会報告
- (4) 大学遺伝子協からの声明や提言について

会員総会1

- 1 開会の辞
- 2 当番大学挨拶 野地澄晴（徳島大学副学長）
- 3 議事
 - (1) 新規会員等の参加承認
 - (2) 文部科学省施策説明
 - I 学術研究を取り巻く動向
高橋 亮（文部科学省研究振興局学術機関課研究設備研究支援）
 - II カルタヘナ法について
伊藤 隆（文部科学省研究振興局ライフサイエンス課生命倫理・安全対策室）
 - (3) ゲノム編集の取り扱いについて
 - (4) 共同利用施設での次世代シーケンスとバイオインフォマティクスの研究支援状況
 - (5) 次回登板施設について

会員総会 2

議事

- 1) 事業報告（第 6 回遺伝子組み換え実験安全委員会）
- 2) 委員会等報告
 - i) 幹事会
 - ii) 広報委員会
 - iii) 組換え生物等委員会
- 3) 会則改正
- 4) 次期体制について
- 5) 決算報告
- 6) 事業計画、予算案について
- 7) その他

研修会 2

- 1) アンケートと安全研修会の報告、熊本大学での事例紹介
- 2) 徳島大学での事例紹介

研修会 1 では（1）で TALEN、CRISPR/Cas9 の技術的な説明が行われ、（2）では新しい育種技術（New Plant Breeding Techniques: NBT）として、ゲノム編集、Ologonucleotide directed mutagenesis (ODM)、RNA dependent DNA methylation (RdDM)、シスジェネシスとトランスジェネシス、接ぎ木、アグロインフィルとレーション、逆遺伝子、合成ゲノムが紹介され、また迅速・効率的育種のための技術として Seed Production Technology (SPT) や果樹等の早期開花遺伝子を利用した世代短縮、Transgenic Male Sterile (TMS) 循環選抜育種が説明されました。外来遺伝子を有する遺伝子組換え農作物であってもその後代で導入遺伝子が除かれていると判断されるものは遺伝子組換え体ではないとする判断が、農林水産省および厚生労働省からなされているが、どのようなデータによって **null segregant** が証明できるかが問題であることが紹介されました。遺伝子組み換え生物であるかについてはプロダクトベースの立場をとる国・地域とプロセスベースの立場をとる国・地域があること、NBT も遺伝子組換え生物に当たるとする考え方をする団体もあることが紹介されました。（4）の声明につきましては、[こちら](#) をご覧ください。

会員総会 1 の文部科学省施策説明、学術研究を取り巻く動向では、学術関係予算として平成 27 年度概算要求、基礎研究力強化と世界最高水準の研究拠点の形成、科学技術を担う人材の育成、世界と一体化した国際活動の戦略的展開、大学力向上のための大学改革の推進等、に関する説明がなされました。カルタヘナ法について、では内容説明と共に、第二種使用等における不適切な取り扱いの事例、名古屋クアラルンプール補足議定書（詳しい内容につきましては遺伝子機能解析部門 [website](#) 参加記をご覧ください）についての説明が行われました。

会員総会 2 の委員会報告につきましては、幹事会よりゲノム編集に関してワーキンググループを設置して検討を行ったことが報告されました。広報委員会より「HP にゲノム編集に関して」のコーナーを設置し、「ゲノム編集技術を用いて作成した生物の取扱いに関する声明・見解・方針」と「ゲノム編集技術に関する書式例」を掲載したことが報告されました。組換え生物等委員会より、組換え通信をメール送信したこと、相談窓口活動を行っていることが報告されました。

研修会 2 では遺伝子組換え実験教育訓練に関してアンケート結果といくつかの大学の事例が紹介されました。徳島大学の事例では教育訓練が非常に多くの回数開催されていることが報告され、印象に残りました。

（中川・西村）